

令和6年度 第3回健康秋田21計画企画評価分科会 議事要旨

1 日 時 令和6年3月5日（火） 午後6時45分～午後7時45分

2 実施方法 オンライン開催

3 出席委員 別紙出席者名簿のとおり

4 議 事

- (1) 議 題
- ①第3期健康秋田21計画（案）について
 - ②令和6年度健康づくりに関する調査について
 - ③その他

5 議事概要

(1) あいさつ（辻田課長）

(2) 議題（○…各委員、●…事務局）

議題①（資料1～3）について説明（小松主任）

- 今回を含め3回にわたり、本計画について協議を行ってきたが、パブリックコメント等を踏まえての今回の案について、御意見等あるか。（伊藤委員）
- これまでの意見等をわかりやすくまとめてもらった。わかりやすい内容で特に意見はない。（安藤委員）
- 今回の案に対しての修正意見はない。（大山委員）
- パブリックコメントでのたばこに関する意見の多さに驚いた。（田村委員）
- 堅い内容の中にもイラスト等も入れており、よいかと思う。（畠山委員）

議題②（資料4, 5, 参考資料）について説明（田口副主幹）

- 歯の習慣の項目について、オーラルフレイルに関する質問を入れてはどうか。
また、健康秋田21計画等において、20歳以上の歯科健診の受診率を指標にしているが、問53では40歳以上の歯科健診の受診率について質問しているので、20歳以上にしたほうがよいのではないか。（畠山委員）
- オーラルフレイルについては、問67に認知度に関する質問を入れている。
20歳以上における歯科健診の受診率は、県民歯科疾患実態調査の項目としており、今回の調査では、40歳以上の2人に1人が歯周病に罹患しているという実態も踏まえ、40歳以上の状況を把握できればと考えている。（田所技師）
- 前回調査から削除した質問はあるか。また、欠落項目がある回答票の扱いはどうするのか。加えて、回収率を上げるための対策として、回答に必要な時間の目安を示した方がよいと思う。（安藤委員）

- 前回から削除した項目はなく、欠落項目があった場合も回答として扱い、集計に含むこととする。
回答時間の目安については、前向きに検討させていただきたい。(田口副主幹)
- 回答時間をあらかじめ示しておくことは重要だと思う。
また、今回の調査ではオンラインの活用も検討するとのことだが、高齢者への対応は丁寧に進めてほしい。(伊藤委員)
- 項目は減らさないとのことで、1つ1つの質問が重要なのは理解できるが、これでは質問項目が増える一方になってしまう。今回から必ずということではないが、質問についての絞っていくことも検討してほしい。(田村委員)
- 回収率が低下していることが気になる。オンラインの活用と合わせて、年代・性別ごとに回収率がどのように異なるかなどの分析も行ってもらいたい。(大山委員)
- 回答の選択項目も多いと感じたので、そこについても検討をお願いしたい。
アンケートの回収率については、全ての項目に回答していることを前提にした場合であれば、回収率が30%ということが多い。欠落項目がある場合でも回答としてカウントするというのであれば、その場合の目安等についても調査・検討しておいた方がよい。(安藤委員)
- 質問数が多いので、回答するのが大変だという印象を持った。例えば、質問内容は分かりやすい平易な内容にするなどの工夫についても検討してほしい。また、最後の質問で回答にどれくらい時間がかかったかを聞いてみるのもいいかもしれない。(伊藤委員)

(3) その他

- 今回の分科会をもって、第3期健康秋田21計画の協議は終了となる。
本計画は3月21日に開催の健康づくり審議会において成案となる予定である。
(鎌田政策監)

(以 上)